

コード No. 18805

**Anti-Mouse  
Claudin-15 (C) Rabbit IgG Affinity Purify**

容量 : 100 µg

- はじめに : Claudin は遺伝子ファミリーを形成する 4 回膜貫通型タンパク質で、細胞膜内で重合しながら細胞間接着能を持つことにより、細胞膜を密着させてタイトジャンクションを形成します。また、同種類間でも異なる種類の claudin 間でも会合します。その構造は、N 末端と C 末端を細胞内に向け細胞外に 2 つのループを持つような形で膜に組み込まれています。  
基本構造はファミリー間で共通しており、C 末端部分は膜裏打ちタンパク質 ZO-1、ZO-2、ZO-3 の PDZ ドメインと結合し、その分子量は 20 - 27kDa です。Claudin-15 はマウス肝臓、腎臓などに分布することが知られています。
- 免疫抗原 : Mouse Claudin-15 の C 末端部分合成ペプチド (TSDESDISFGKYGKNA)
- 精製方法 : 抗原ペプチドによる特異精製
- 包装形態 : 1 % BSA, 0.05 % NaN<sub>3</sub> 含有 PBS 1.0 mL に溶解したものを凍結乾燥
- 再生方法 : 精製水 1.0 mL 添加 (この時濃度は 100 µg/mL となります)
- 保存方法及び安定性 : 2 ~ 8 °C 保存 5 年間安定  
: 溶解後 -20 °C 保存 2 年間安定
- 使用目的及び使用方法 : 免疫組織染色(凍結切片)、免疫細胞染色約 5 µg/mL にて使用可能  
: ウェスタン・ブロッティング 約 5 µg/mL にて使用可能
- 特異性 : Claudin-15 に特異的。Claudin-1, -2, -3, -4, -5, -6, -7, -8, -12 とは反応しません。  
(Transfectant を用いたウェスタン・ブロッティングにて確認)